

2027年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

東リ株式会社

(証券コード:7971)



2026年7月30日

2027年3月期 第1四半期 連結決算概要

(単位:百万円 ※単位未満切り捨て)

POINT

- 中東情勢の緊迫化に伴う不安定な原材料調達環境のなか、調達ルートの拡充や一部原材料の内製化など、あらゆる対応策を講じて製品の安定供給に注力。
- 原材料価格の高騰によるコストアップ要因が第1四半期に与える影響は比較的小さく、主力製品の安定供給により販売数量が増加したことで、増収増益となる。(7月27日受注分より販売価格の改定を実施)

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前期比(%)	前期差
	実績	実績		
売上高	25,056	25,660	+ 2.4%	+ 603
売上総利益	7,391	7,714	+ 4.4%	+ 323
(売上高比率)	(29.5%)	(30.1%)		
販売費及び一般管理費	6,972	7,088	+ 1.7%	+ 115
(売上高比率)	(27.8%)	(27.6%)		
営業利益	418	625	+ 49.5%	+ 207
(売上高比率)	(1.7%)	(2.4%)		
経常利益	642	853	+ 32.8%	+ 210
(売上高比率)	(2.6%)	(3.3%)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	379	583	+ 53.8%	+ 204
(売上高比率)	(1.5%)	(2.3%)		

連結貸借対照表

(単位:億円 ※単位未満切り捨て)

主な変動

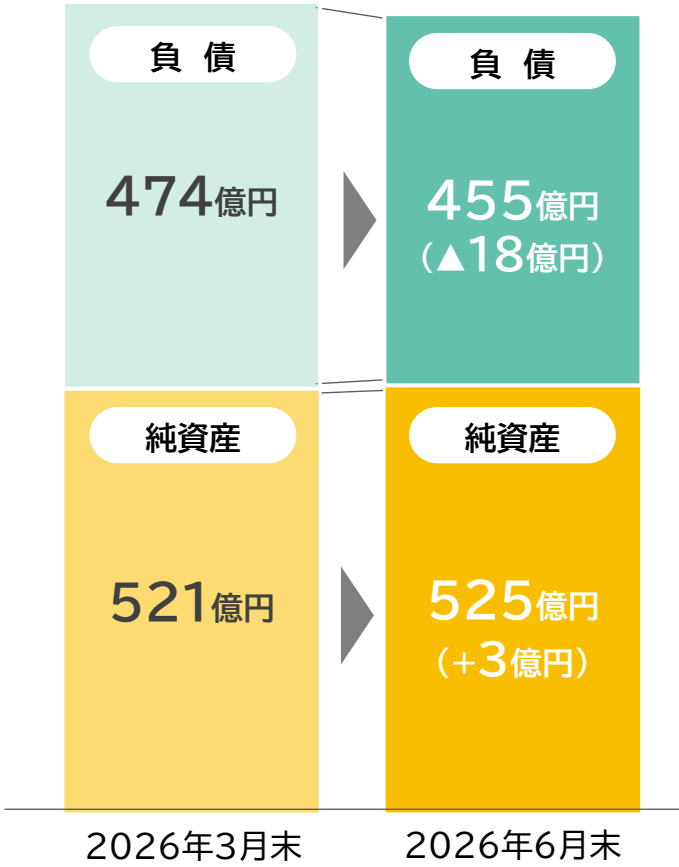
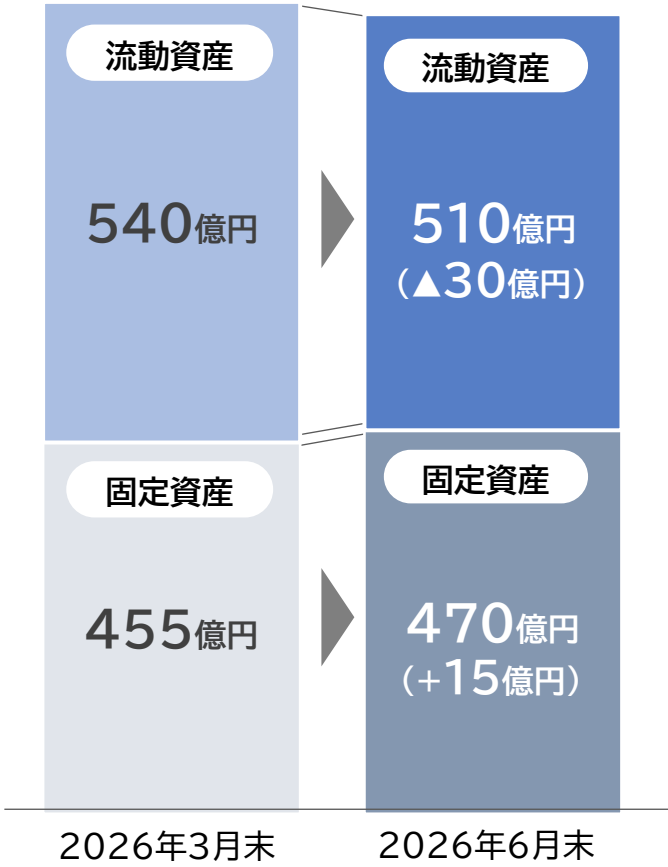
流動資産： 売上債権の減少▲34
棚卸資産の増加+21 等

固定資産： 投資有価証券評価額の上昇+15 等

主な変動

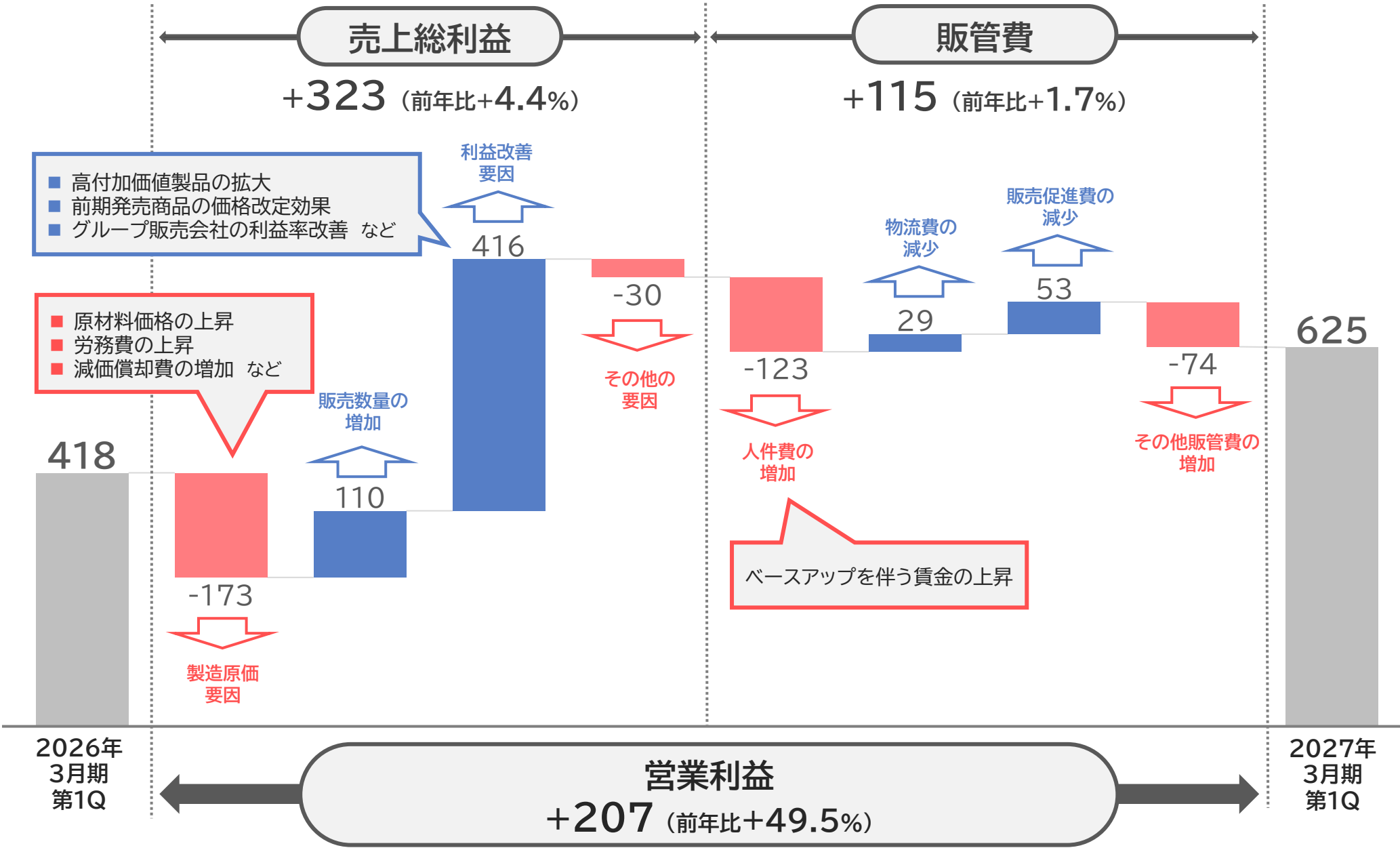
負債： 仕入債務の減少▲10
未払法人税等の減少▲13 等

純資産： その他有価証券評価差額金の増加+10
利益剰余金の減少▲7 等



連結営業利益 増減要因

(単位:百万円 ※単位未満切り捨て)



事業セグメント別業績のポイント

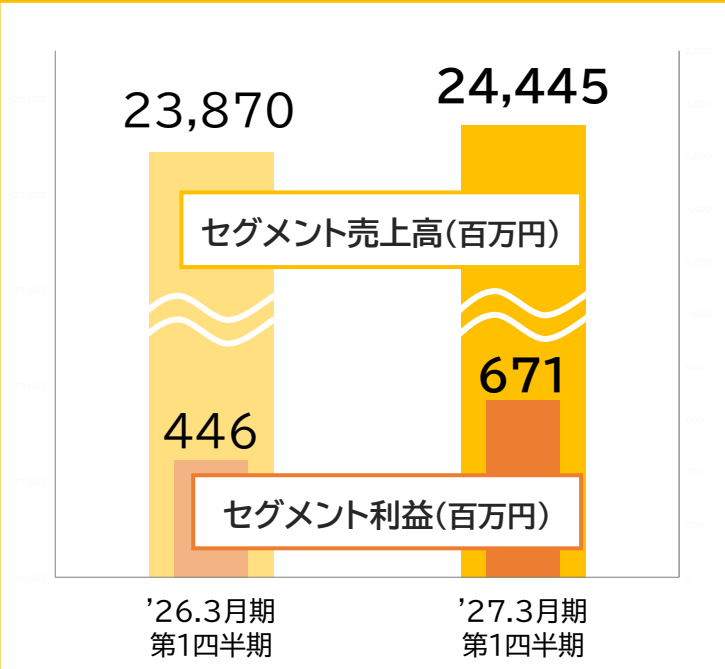
インテリア事業

売上高

24,445百万円
前期比(+2.4%)

セグメント
利益

671百万円
前期比(+50.2%)



事業内容

- 東リブランド製品の製造販売
- 各種インテリア資材の仕入販売
- 内装工事 等

2027年3月期 第1四半期 ポイント

- 不安定な原材料調達環境のなか、接着剤を中心に一時的な品薄状態が続いたものの、あらゆる施策を講じ、製品の安定供給に注力。
- 原材料価格の高騰によるコストアップ要因が第1四半期に与える影響は比較的小さく、主力製品の安定供給により販売数量が増加したことで、利益は前年を上回る。

事業セグメント別業績のポイント

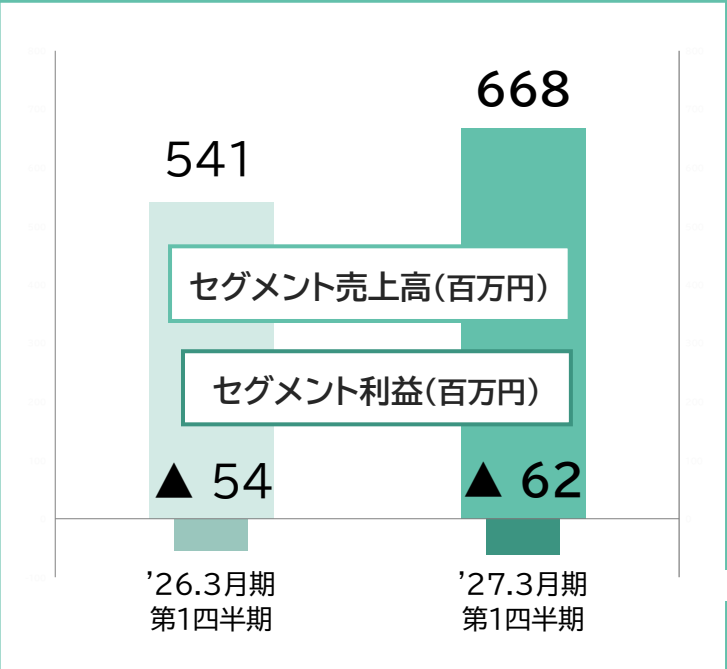
グローバル事業

売上高

668百万円
前期比(+23.3%)

セグメント
利益

▲62百万円
(前期:▲54百万円)



事業内容

- 東リブランド製品を中心とする輸出販売
- 江蘇長隆(中国合併事業)製品の海外販売 等

2027年3月期 第1四半期 ポイント

- 中国市場では、不動産不況の長期化により、厳しい市場環境が続く一方、Eコマース市場における住宅向けタイルカーペットの販売が好調に推移。
- 北米市場では、TOLI North Americaによるエリア別代理店施策や現地在庫戦略に注力。
- ASEAN、中東・インドの売上は前期を上回る。
- 中国、ASEANでの増収効果があったものの、人件費等の間接費用の増加が利益を押し下げる。

事業セグメント別業績のポイント

建材その他事業

売上高

1,216百万円
前期比(+1.3%)

セグメント
利益

17百万円
前期比(▲35.5%)



事業内容

- 業際分野及び産業資材向け
東リブランド製品の製造販売
- 各種建材及び住設機器の仕入れ販売 等

2027年3月期 第1四半期 ポイント

- 浴室向けビニル床シート「バスナシシリーズ」が好調。
- 卓球用フロアマット「コネクトマットT」が、国際卓球連盟(ITTF)ならびに公益財団法人日本卓球協会(JTTA)の公認フロアとして認定。
- 新設住宅市場が低調に推移したことにより、建材及び住設機器の仕入れ販売は前年を下回る。
- 販売に係る費用の増加により、セグメント利益は前年を下回る。

2027年3月期 連結業績見通し

(単位:百万円 ※単位未満切り捨て)

POINT

- 地政学リスクの高まりは依然として予断を許さず、中東情勢の影響が第2四半期以降も継続する見込み。
- 製品の安定供給に引き続き注力するとともに、原材料価格の高騰に対応した販売価格の改定(7月27日受注分より)を実施し、収益力の改善を図る。
- 原材料価格の高騰に対して後追いの販売価格改定となり、収益改善にはタイムラグが生じる。

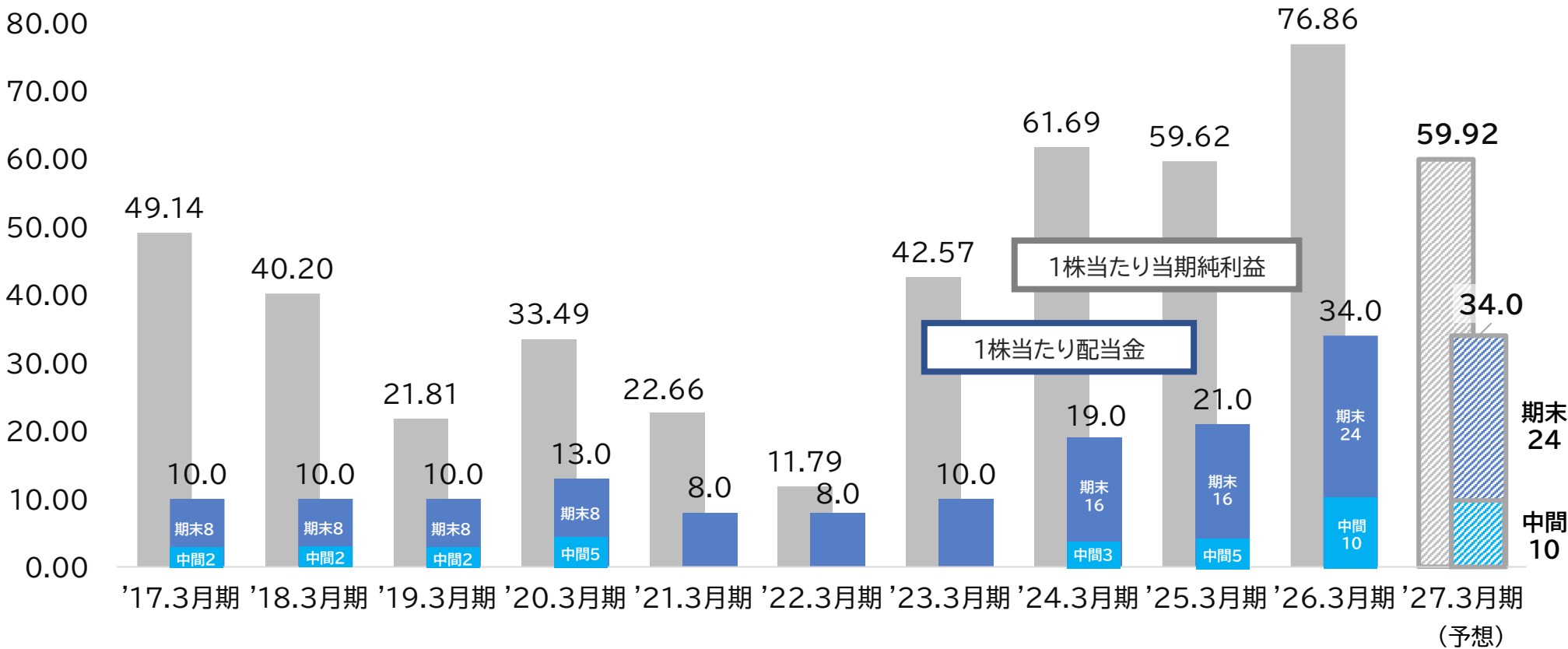
	2026年3月期		2027年3月期 業績予想値(5/8発表)			
	上期 (4-9月)	通期	上期(4-9月)		通期	
				前期比(%)		前期比(%)
売上高	52,292	112,337	52,000	▲ 0.6	112,000	▲ 0.3
(前期比)	(+10.3%)	(+6.3%)				
営業利益	1,399	5,100	700	▲ 50.0	4,100	▲ 19.6
(前期比)	(+38.2%)	(+16.5%)				
経常利益	1,710	5,733	900	▲ 47.4	4,500	▲ 21.5
(前期比)	(+49.0%)	(+22.9%)				
親会社株主に帰属する 中間期／当期純利益	1,090	4,459	700	▲ 35.8	3,400	▲ 23.8
(前期比)	(+58.3%)	(+27.1%)				

配当の実績推移と予想

「SHINKA Plus ONE 2.0」(2026年3月期～2028年3月期) 配当方針

中期経営計画「SHINKA Plus ONE 2.0」期間中の株主配当については、連結配当性向50%、又はDOE3.5%を目安に、安定的な配当を継続的に実施することとし、年間配当金は19円を下限とする方針。

配当金推移(円)



将来見通し等に関する注意事項



本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、当社の目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界動向や外部環境認識等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性や完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

IRに関するお問い合わせ先

東リ株式会社 経営企画部

e-mail

toli_ir@toli.co.jp